

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
キタテハ	タテハチョウ科	最も代表的なタテハ	○	○	○	本州以南



多摩川土手 中野島 8月下旬 ノビルで吸蜜

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹		発生回数/年		越冬形態					
カナムグラ、ホソバイラクサほか				3～5		成虫					

年中飛んでる印象を受ける代表的なタテハで、多摩川の土手～河川敷でも見る機会が多い蝶です。羽の外縁部のギザギザの形態はタテハチョウ科によく見られものです。

山地性でこのキタテハによく似たエルタテハ、シータテハというタテハが2種います。

エルとシーはそれぞれ「L」と「C」、後羽の裏側中央付近に小さな文字状の白っぽい模様がありそれが「LとC」だということなのですが（キタテハにもLともCとも取れるような模様はある）、もう少しまともな名前がつけられなかったのか思うのは私だけではないでしょう。



生田緑地 7月中旬
後羽裏側中央部に白っぽい模様あり



エルタテハ 長野県南佐久郡 8月初旬
「L」の字は後羽裏側中央部。羽の表は同じタテハチョウ科のヒオドシチョウに似ている



シータテハ 奥多摩日原 5月下旬
「C」の字は後羽裏側中央部。羽の表はエルタテハと同様のヒオドシチョウに似ている



シータテハ 長野県南佐久 7月下旬



シータテハ 長野県入笠山 8月下旬